

全体の結果	本校	広島県	全国
	65.0	70.0	70.2
学習指導要領の領域			
数と計算	51.7	63.6	63.1
図形	73.3	57.2	57.9
測定	62.2	75.1	74.8
変化と関係	66.7	76.2	75.9
データ活用	66.7	76.2	76.0
評価の観点			
知識・技能	71.9	73.7	74.1
思考・判断	56.2	65.9	65.1
問題形式			
選択式	67.8	76.2	76
短答式	74.4	75.4	75.8
記述式	46.7	54	53

正答率が低い設問

- ① 4(3) 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用し、基準量を1とした
- ② 3(4) 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。
- ③ 1(1) 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。
- ④ 1(3) 速さを求める除法の式と商の意味を理解している。
- ⑤ 4(2) 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除数の式に表し、計算をすることができる。

課題

- ①例を活かした解答が難しく、どの部分を置き換えて考えればよいか読み取れていない。また、1が何を表しているのか、何が1になるのかを捉えることが難しい。
- ②情報過多の問題や、長文の文章問題の読み取りが難しい。
- ③立式はできているが、計算ミスをしている。(筆算をせずに暗算をしている可能性が高い)
- ④速さの概念が定着していない。速いとは時間がかからないという捉えになってしまっている。同じ時間内に進む距離が遠い方が速いという捉えが弱い。
- ⑤単位量の考え方が定着していない。(わる数とわられる数との関係があいまいである)

改善策

- ①1(基準量)が何を表しているのか、何が1(基準量)になるのかを捉えられるような問題に取り組む。また、活用問題に触れる機会を増やし、解答を記述式にする問題を取り入れ、正しい解答の仕方に触れさせる。
- ②正しく問題を把握するために、問題文に印をつけるなど、書き込みをする。
- ③見直しを必ずさせる。筆算やたしかめ算を使って誤答を防ぐ。メモ書きは残しておく。
- ④一般化する際にどうしてそうなるのかを、絵や図を使って説明させる活動を大切にする。
- ⑤分数、小数の変換に慣れるよう練習をする。(0.5=1/2)
- ①～⑤算数用語を使った授業での説明、まとめ、ノート作り、振り返りを確実に行う。まとめは大事な言葉や数などが何かを意識させながら書くようにする。「大事な言葉や数をみんなで作えながらまとめをつくる」から徐々に「必要な言葉や数を判断し自分でまとめを考えて書く」へ
- ◎全校で、土日の宿題に標準学力調査対策プリントを1枚出し、月曜日の朝会で答え合わせを行う「算活朝会」を実施し、活用力を日常的に鍛えるようにする。
- ◎計算朝会で百マス計算を実施し、計算力の向上を目指す。